

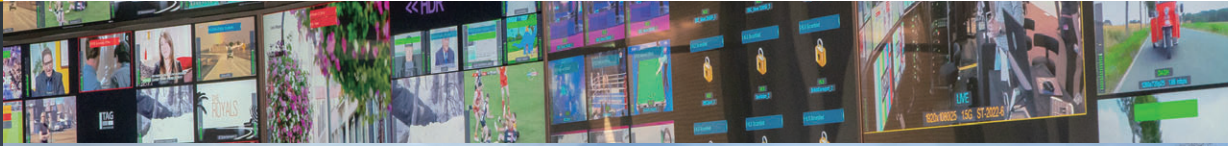
主な導入製品

■ IPマルチビューワ

MCM-9000

■ 統合監視・制御・解析システム

MCS



ミュンヘンメディアオペレーション社とMITM社によるドイツ通信会社向けのライブ、スポーツ、プレイアウト、監視・制御・解析・配信のクラウド導入に成功!

Introduction

ミュンヘンメディアオペレーション社は、ドイツに本拠を置くメディアサービス代理店として、スポーツ、メディア、広告業界などのクライアントにサービスを提供しています。マネージングディレクターのアンドレアス・ゲトル氏は、ITとクラウド変革の豊富な経歴を活かして、放送局にクラウドベースのシステムを提供しています。MITM社は、トーマス・ミッシェン氏によって設立されたドイツのコンサルティング会社であり、放送業界内で30年にわたるプロジェクト管理、システム計画、統合、トレーニングをクライアントに提供しています。そして、ミュンヘンメディアオペレーション社とMITM社は、放送の将来に対するビジョンである、「すぐに使えるソリューションを提供する」「複雑な放送ワークフローをシンプルにして、顧客リソースを最大化する」という情熱を共有していました。

The Challenge

ドイツの大手通信会社が、自社のインフラストラクチャのすべてをIP環境に移行する時、両社は協力して、マルチベンダーシステムにおいて相互運用可能なクラウドベースのシステムを設計し納入しました。このシステムにおいては、スポーツイベントでの多くのライブストリームをリモート監視できること。そして少数のスタッフによって管理され、財務上OPEXライセンス(サブスクリプションライセンス)である必要もありました。そして最も重要なシステム要件は、運用開始までの期間を6か月とする、ということでした。

「この規模のプロジェクトでは、実際に運用を開始するまでに最大3年かかる場合があります。テストに1年、実装に1年、運用と調整に1年です。しかし、私たちには複数年にわたるスケジュールを立てる余裕はありませんでした。」

アンドレアス・ゲトル氏

Munich Media Operations/マネージングディレクター

The Solution

電気通信のプロバイダー向けストリームの監視と、監視業務の視覚化の要件に対してはTAG社のシステムを採用。TAGシステムは完全にクラウド上で動作し、チームメンバーがリモートで作業できるため、人員の問題が大幅に軽減されます。また、OPEXライセンスを提供しており、ライセンス費用は入力ストリームに対してのみ発生します。そのため、システムの数や設置場所に制限されることなく、すべてのストリームをまとめて監視することで、運用とコストの柔軟性が高まります。

「私は前職の大手コンテンツ配信会社において、TAG社とTAGシステムの両方に関して非常に良い経験をしました。TAG社の技術担当者は、私たちの提案に必要なことすべてを完全に理解し、スムーズな支援をしてくれます。またTAG社は非常に迅速で、あらゆるリクエストに革新的なソリューションを提供してくれました。」

トーマス・ミッシェン氏

MITM/ファウンダー



■ TAG Video Systems社

TAG Video Systems社は、100%ソフトウェアベースの統合IPマルチビューイング、プロービング、モニタリングソリューションの世界的リーダーです。

■ 事業内容

2008年に最初のIPソリューションを発表し、現在ではライブプロダクション、プレイアウト/マスターコントロール、配信、OTTという4つの主要な放送アプリケーションにおいて10万以上のプロービング/モニタリングポイントをサポートしています。100%のソフトウェアプラットフォームは、MPEGTS、JPEG-XS、CDI、NDI、JPEG2000、SMPTE2110、SMPTE 2022-6/7、MPEG-DASH、HLSなどの圧縮/非圧縮フォーマットの両方をサポートしています。TAGのソリューションは、標準的な汎用のハードウェア(COTS)とクラウド上で動作し、最先端のIP監視・分析ツールと、通常のモニタやモバイルデバイスで利用できる最高品質のUHDマルチビューワを提供します。

リモート業務といった運用やコストの柔軟性に優れたクラウド上にIPベースの監視システムを導入することは、技術的・財務的な観点からゲトル氏にとっては当然の結論でしたが、残念ながらメディア業界のIPへの移行速度は十分とは言えません。しかし、既に目の前にあるテクノロジー(TAG)を使うだけで、すべてを解決することができます。このプロジェクトにおいて、オンプレミスのインフラはまったくありません。当初はPoC(概念実証)として計画されていましたが、このシステムはライセンス発行後(納入後)から、わずか1ヵ月で実運用を開始しました。現在、シーズンあたり3,000~4,000のストリームを問題なく監視しています。

On the Cloud

現在、このTAGシステムによって、AWSクラウド環境で実行されている複数のライブスポーツSRTストリームをオンデマンドで監視しています。これはクラウド内がIPベースの環境であるため、ストリームの発信元は無関係となります。クラウドビデオミキサーはストリームを受信し、顧客が望む形式でストリームを送信します。またOPEXライセンスを採用すると、必要に応じてインスタンスを高速化またはスピンドウンして、リソースを最大化し、コストを最小限に抑えることができます。

「当社はテクノロジーを販売するのではなく、クライアントの問題をテクノロジーで解決します。監視業務において、ストリームがどこから来たのかは気にせず、衛星アップリンクについても気にする必要ありません。重要なのは、スポーツのライブストリームをTAGシステムが監視および分析して、クライアントがストリームを正常に配信できることです。」

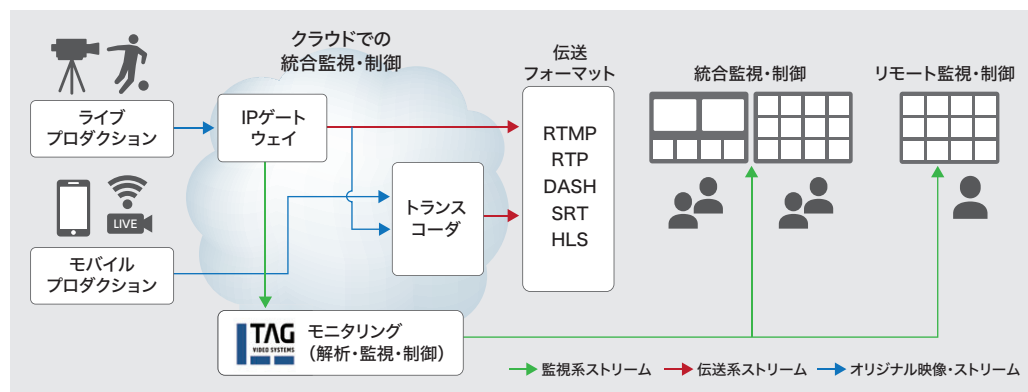
アンドレアス・ゲトル氏

Munich Media Operations/マネージングディレクター

The Results

このTAG社のシステムは、バスケットボールやサッカー、アイスホッケーなど、様々なスポーツのストリームを監視するために使用されています。また、ストリームの分析ツールや監視ツールとしても使用されており、クライアントが配信における不具合の原因を突き止めるのに非常に役立っています。

■ システム概要図



2024年2月作成

「TAGシステムの運用において、オペレータ、オフィスの場所に関係無く世界各地からリモートで業務ができるようになりました。このリモートオペレーション機能により、ユーザは遠隔地においても適切な人材を雇用できることや、複数の拠点を同時に監視する柔軟性が得られます。私たちは、TAGのシステムによって場所や時間の制約を取り払い、最大限の柔軟性を実現しました。」

トーマス・ミッシェン氏

MITM/ファウンダー

Looking Forward

この大手通信会社のプロジェクトは、両社にとっての注力業務となっています。今後、同様のサービスを拡大し、他の顧客にも提供します。TAGシステムは、最新の機能をバージョンアップで追加できます。そして次のステップは、監視スタッフを問題発生予防や解決の作業に集中できるようにすることです。

「今後重要な機能の1つは、TAGのAPI接続機能です。たとえば、現在ではモザイクレイアウトを自分で作成し、すべてのUMDを手動で実行していますが、これからはTAGのAPI接続を使用することによって、オペレータがサインオンするたびにモザイクレイアウトの作成とUMDの設定を自動で行いたいと考えています。」

「将来的には、グラフィックス、ラウドネス、オーディオ処理からプレイアウトサービスまで、すべてクラウドサービスの中で処理を拡張したいと考えています。そしてこれらのサービスは、YouTubeやFacebookといった、様々なプラットフォームで使用できる可能性があります。」

トーマス・ミッシェン氏

MITM/ファウンダー